

## 施工説明書

### 収納用建具



### 3枚連動引戸 枠・扉 VERITISシリーズ

- この商品は、一般住宅、それに準じる居住施設および高齢者施設、小規模商業施設（床面積150㎡未満）の屋内専用商品です。土足で利用される建物でのご使用や他の用途へのご使用はおやめください。不特定多数の方が利用する建築物（学校、体育館、その他小規模商業施設であっても不特定多数の方が利用する施設など）や、過酷な条件（高温・多湿、寒冷、油分が多いなど）でのご使用はおやめください。
- 屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。
- 施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 施工後は引き渡しの際に、取扱説明書にしたがって取り扱い方法をお施様にご説明いただき保証書（取扱説明書に添付）に必要事項を記入してお施様にお渡しください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません、また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用商品ですので、日本国外での設置はしないでください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

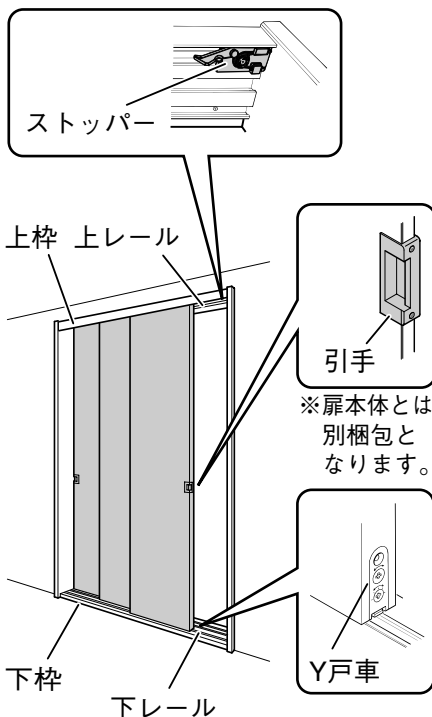
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠ 注意	
 禁止	施工時に商品仕様を変えるような加工をしない 商品の変形・破損などによりけがをするおそれがあります。
	上部ピボットは、ドライバーなどを使って取り付けない 上部ピボットが変形・破損し、扉が倒れてけがをするおそれがあります。
 必ず守る	必ず付属のねじを使用する 使用しないとレールの落下の原因となり、けがをするおそれがあります。
	1.5間の化粧枠の運搬は必ず二人作業で行う 守らないと、化粧枠の落下の原因となり、けがをするおそれがあります。
	必ず下げ振り・水準器などで、縦枠・上下枠の垂直・水平の確認をする 水平・垂直に取り付けないと、がたつきによるけがの原因となります。

### 施工上のご注意

施工完了まで、ダンボールなどで本体および枠の養生をしてください。また、製品に直接、養生テープや粘着テープなどは貼らないでください。




## 各部の名前



## 部材・部品表

商品に梱包されている部材・部品は下表の通りです。梱包の内容をご確認ください。

部材表	部材名	入り数	
		直付けレール納まり	4方枠納まり
	上レール	1	1
	下レール	1	3
	連動ユニット	1	1
	幕板(樹脂製)	2	2
	部品袋	1	1

扉部品	部品名		入り数	
		上部ピボット		
引手		引手		2
		引手取付ねじ トラスφ3.5×30mm		4

3方枠	部品名	1.0間S・1.0間		1.5間	3方枠	部品名	1.0間S・1.0間		1.5間
	枠組立用ねじ φ4.8×50mm	4		4		ストッパー	2		2
	枠固定用ねじ 皿φ4.5×50mm	8		8		接着剤	1		2
	上レール取付用ねじ トラスφ3.8×40mm	8		12	下枠	枠組立用ねじ φ4.8×50mm	4		4
	ゴムキャップ φ13mm	8		8		枠固定用ねじ 皿φ3.8×51mm	3		4

# 納まり

[寸法単位: mm]

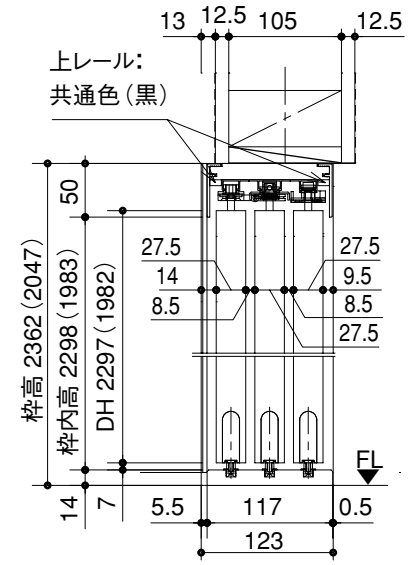
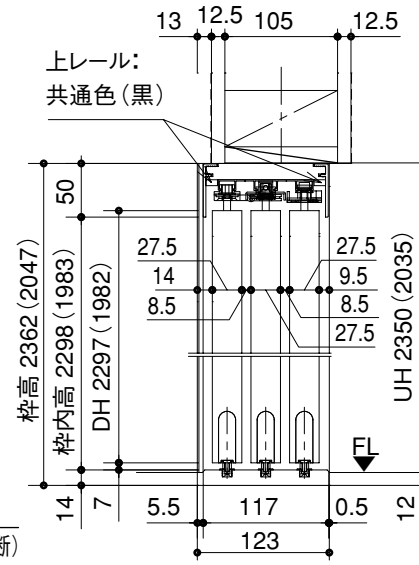
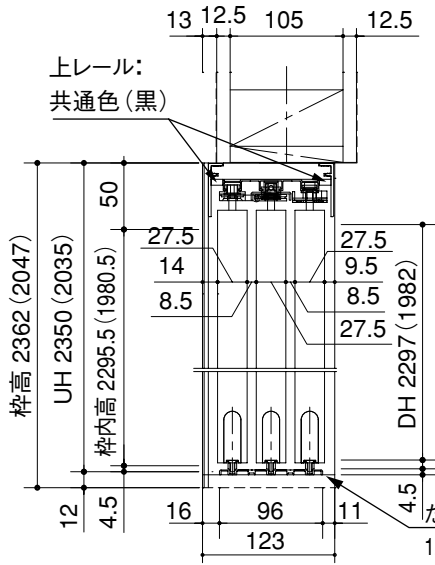
扉納まり側断面図 ※ ( ) 寸法は7尺の場合です。

直付けレール納まり

4方枠納まり

<床埋め込み施工>

<床置き施工>

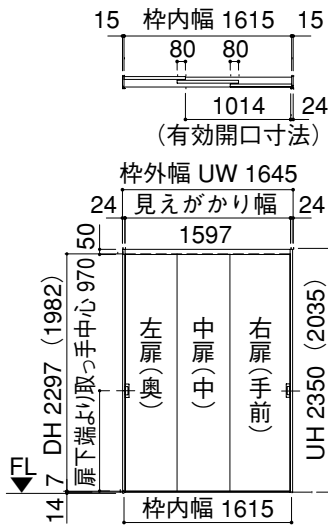


	床 (下埋め込み)	床 (下枠床置き)	天井	壁
木造				
2' x 4'				
RC造				
鉄骨造				

# 製品寸法図

[寸法単位：mm]

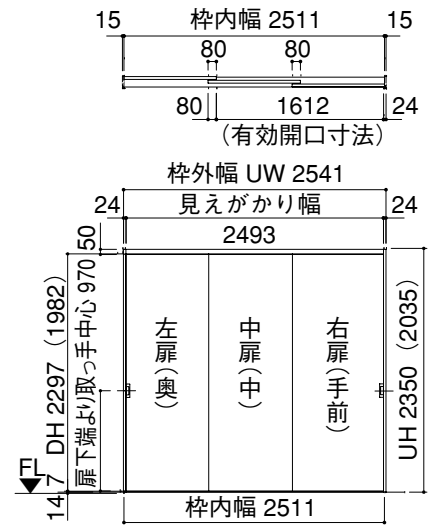
**直付けレール納まり** ※ ( ) 寸法は7尺の場合です。



1.0間S

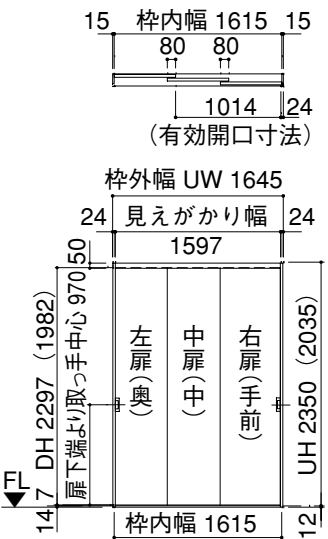
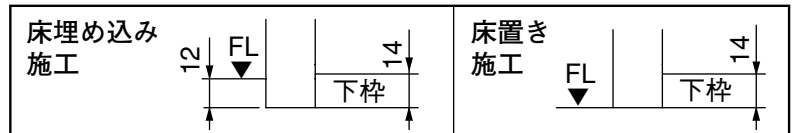


1.0間

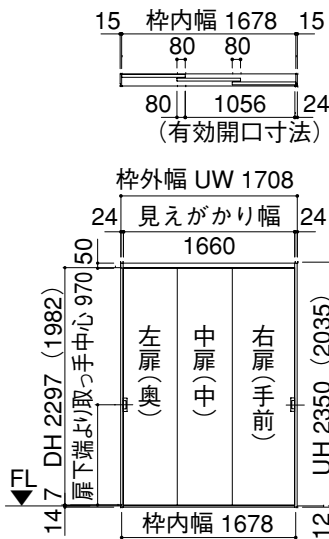


1.5間

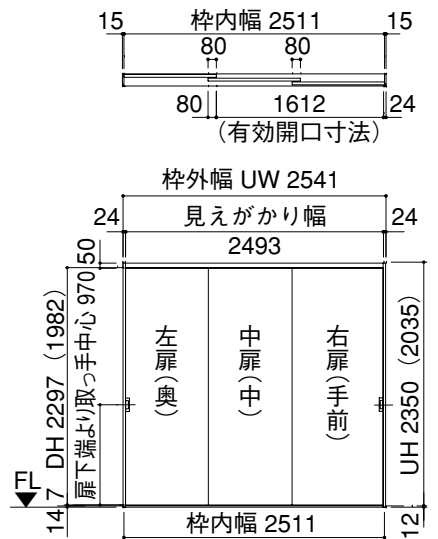
**4方枠納まり** ※ ( ) 寸法は7尺の場合です。



1.0間S



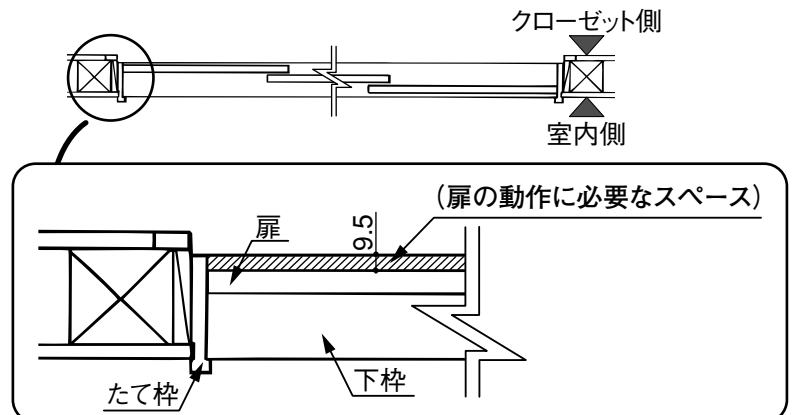
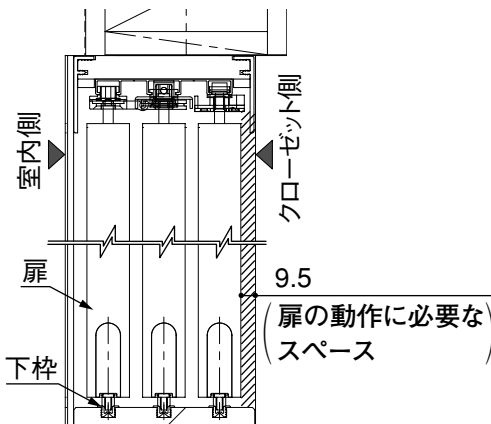
1.0間



1.5間

## ■納まりの注意事項

下図の 部は、扉の動作に必要なスペースとなりますので、棚や柱などが入らないようにしてください。

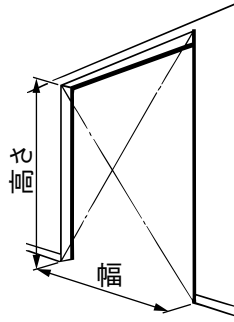


# 施工前の準備

[梁の例]・1.5間幅開口の場合 120×240 mm

- 開口部に幅・高さ・奥行の各内寸法の精度を十分に確保する。
- 柱または縦枠の垂直、床面・上下枠の水平をそれぞれ下げ振り・水準器でよく確認する。

※幅・高さの開口部寸法は「製品寸法図」を参照してください。



# 施工手順

## 枠の取り付け

### ■縦枠の伸び寸について

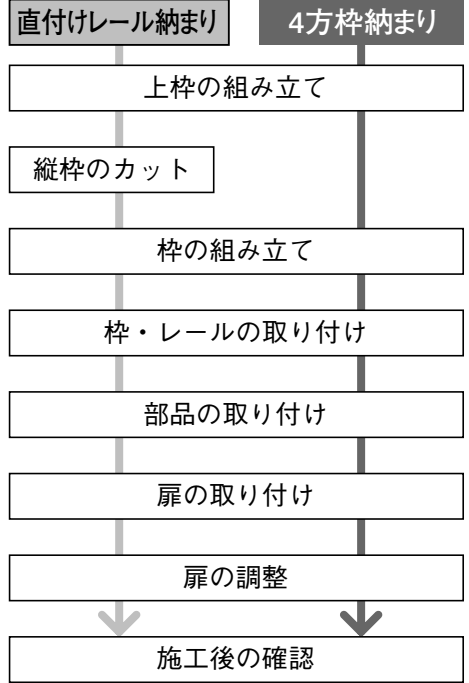
仕様	直付けレール納まり		4方枠納まり	
	伸び寸のカットが必要です。 カット寸法 12 mm		伸び寸のカットは不要です。 —	
縦枠長さ	8尺扉	7尺扉	8尺扉	7尺扉
	2350 mm	2035 mm	2362 mm	2047 mm

※Uオーダー（特注）にてサイズ指定された場合は、直付けレール納まり・4方枠納まりともに縦枠のカットは不要です。

## 工具

- 電動ドライバー
- ※インパクトドライバーは使用しないでください。
- プラスドライバー
- 巻き尺
- プラスチックハンマー
- のこぎり
- 下げ振り

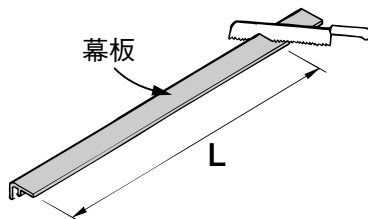
## 施工のながれ



## 1 上枠の組み立て

### 1. 幕板の切断

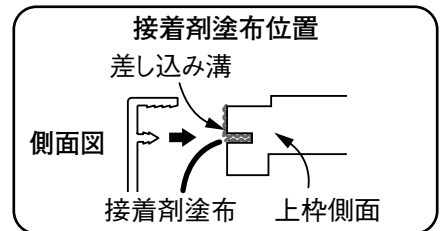
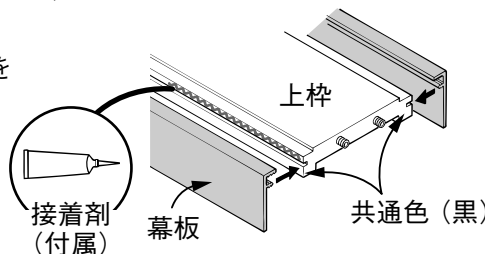
上枠の長さに合わせて、幕板をのこぎりで切断する。



製品幅サイズ	1.0間S	1.0間	1.5間
幕板L寸法	1614mm	1677mm	2510mm

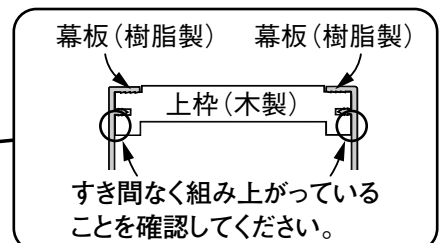
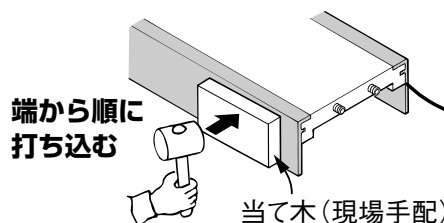
### 2. 幕板の取り付け

上枠の左右両側に付属の接着剤を塗布し、幕板を取り付ける。差し込み溝など、接着剤塗布位置に確実に塗ってください。



### 3. 幕板の打ち込み

当て木（現場手配）をして、上枠に幕板を打ち込む。



# 直付けレール納まりの場合（下枠なし）

縦枠のカットが **必要** です。

## 2 縦枠のカット

縦枠の下部を12mm（伸び寸）カットする。

	8尺扉	7尺扉
カット後の縦枠長さ	2350	2035

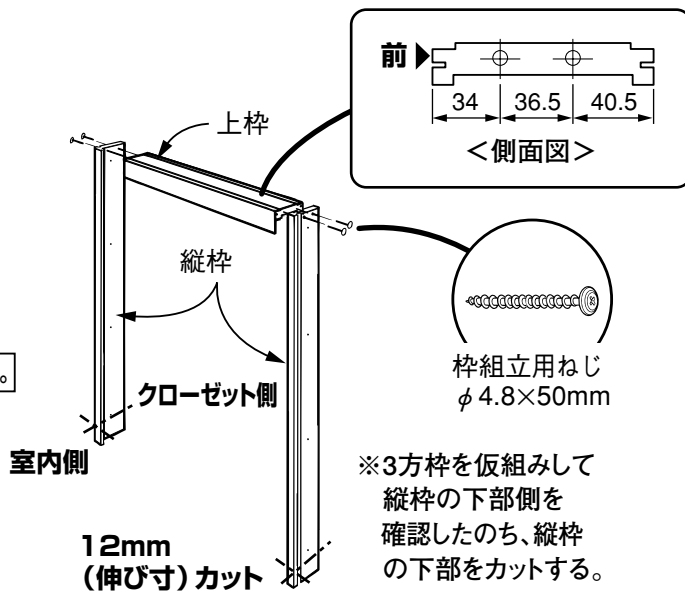
- 注意**
- 上枠を現場カットしないでください。
  - 縦枠は、指定寸法以上にカットしないでください。（3枚扉が連動しなくなります。）
  - 縦枠は上下がありません。（上下反転使用可能です。）

※Uオーダー（特注）にてサイズ指定された場合は、カットは不要です。

## 3 枠の組み立て

枠組立用ねじで枠を組み立てる。

- 注意** 上枠には前後の方向性があります。



## 4 枠・レールの取り付け

### 1. 縦枠の固定

下穴位置に指定のねじで固定し、ゴムキャップを取り付ける。

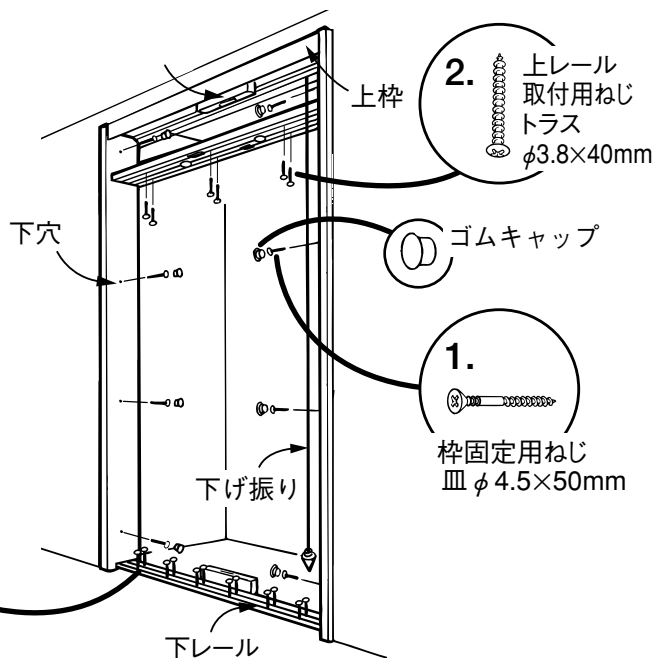
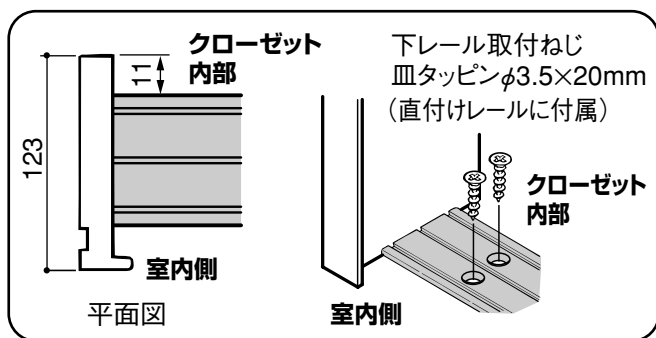
### 2. 上レールの固定

上レール取付用ねじで上レールを上枠に確実に固定する。

- 注意** 上レールが垂れ下がると、扉が吊り込めなくなります。

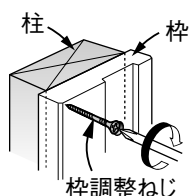
### 3. 下レールの取り付け

下レールを、縦枠の後ろ側から11mm前方へずらして、取付ねじで床面に固定する。



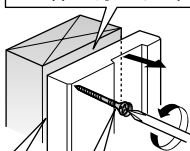
### 枠の垂直・水平を調整できます

① 枠を柱に固定する。

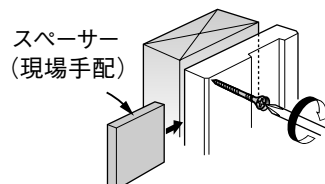


② ねじを逆回転して枠を浮かし、枠の垂直を出す。

2. 枠が浮きすぎ間ができる



③ 柱と枠のすき間にスペーサーを入れて再度ねじを締める。



# 4方枠納まりの場合（下枠あり）※下枠は別梱包品です。

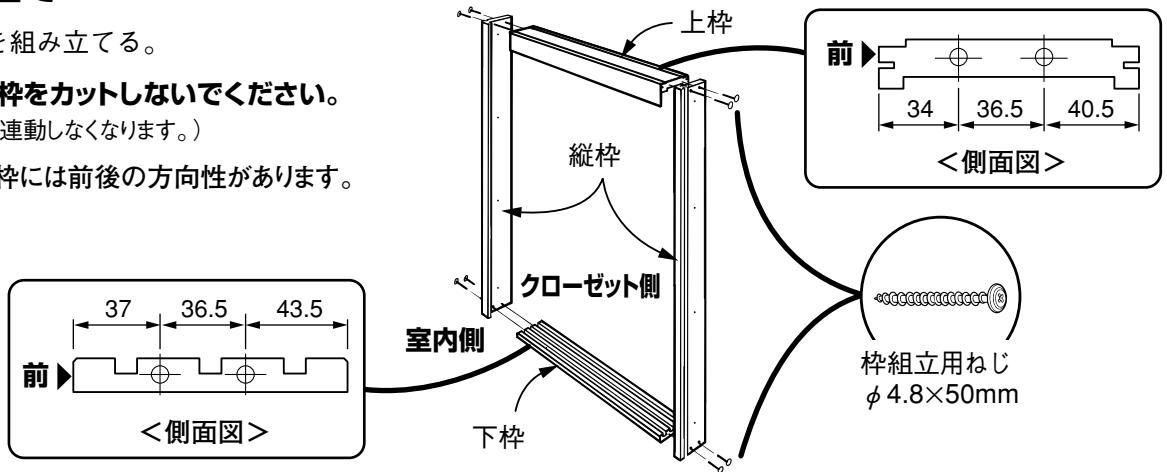
縦枠のカットは **不要** です。

## 2 枠の組み立て

枠組立用ねじで枠を組み立てる。

**注意**

- 上枠・縦枠をカットしないでください。  
(3枚扉が連動しなくなります。)
- 上枠・下枠には前後の方向性があります。



## 3 枠・レールの取り付け

### 1. 縦枠の固定

下穴位置に指定のねじで固定し、ゴムキャップを取り付ける。

### 2. 上レールの固定

上レール取付用ねじで上レールを上枠に確実に固定する。

**注意**

上レールが垂れ下がると、扉が吊り込めなくなります。

### 3. 下枠の固定

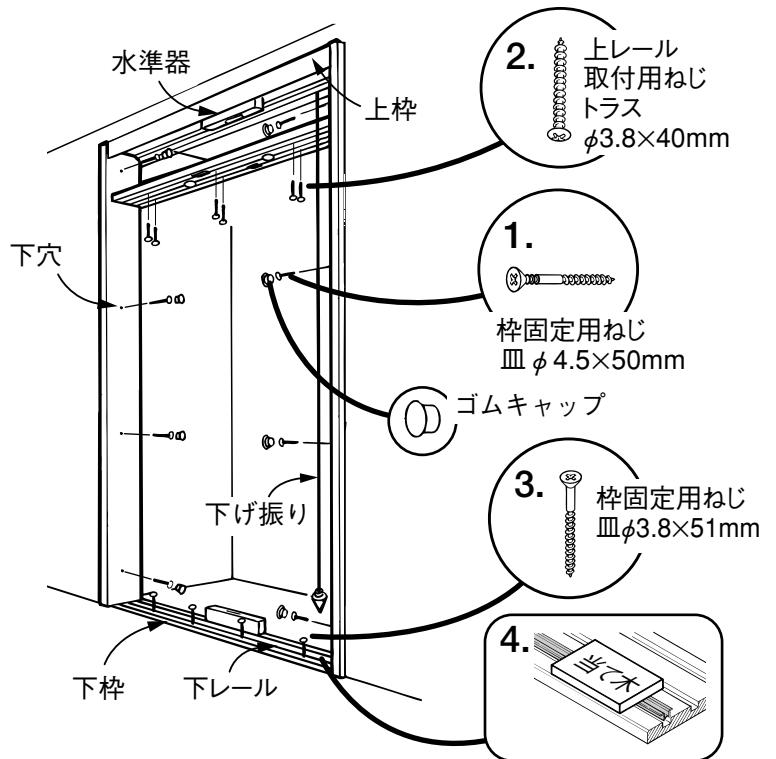
レール溝部に指定のねじで下枠を固定する。

### 4. 下レールの取り付け

下枠の溝に、下レールを埋め込む。

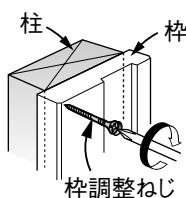
**注意**

必ず当て木を使い、確実に埋め込んでください。



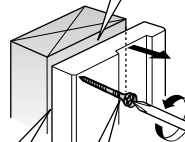
### 枠の垂直・水平を調整できます

① 枠を柱に固定する。



② ねじを逆回転して枠を浮かし、枠の垂直を出す。

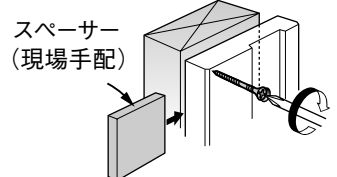
2. 枠が浮きすぎ間ができる



3. 枠の垂直を出す

1. ねじを逆回転する

③ 柱と枠のすき間にスペーサーを入れて再度ねじを締める。



# 扉の吊り込み

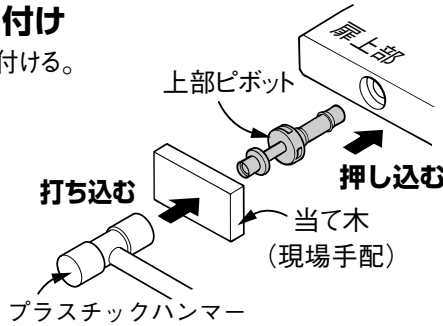
## 1 部品の取り付け

### 1. 上部ピボットの取り付け

扉の上部に上部ピボットを取り付ける。

#### 重要

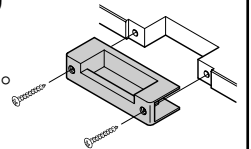
上部ピボットの取り付けは必ず当て木(現場手配)を使用し、垂直にたたき込んでください。



### 2. 引手の取り付け

扉の切り欠きに引手をはめ込み、ねじで固定する。

引手取付ねじ  
トラスφ3.5×30mm

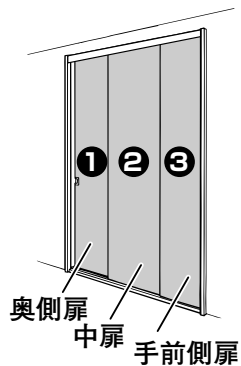
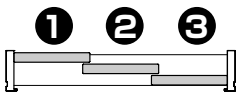


## 2 扉の取り付け

### 扉の取り付け順序

【一般的な納まり】

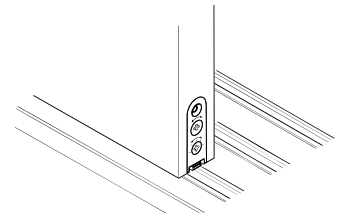
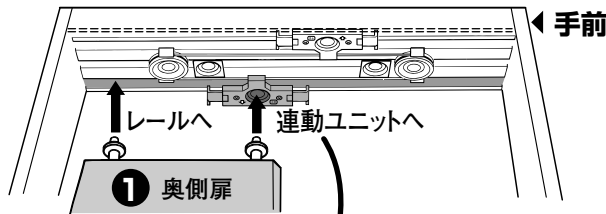
左扉を奥に設置



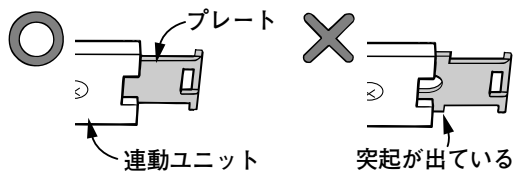
### 1. 奥側扉の取り付け

① 上部ピボットを下記に示す位置に差し込む。

② Y戸車を下レールに落とし込む。



#### 差し込む前にプレートの位置を確認する



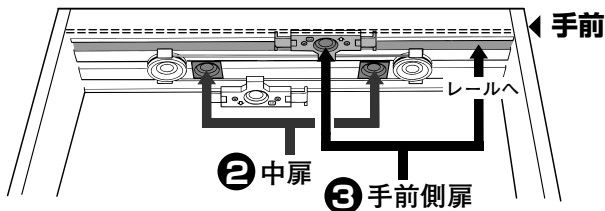
※扉を開けるとロックがかかる仕組みになっています。プレートがずれていると、ロックがはたらきません。

#### 確認

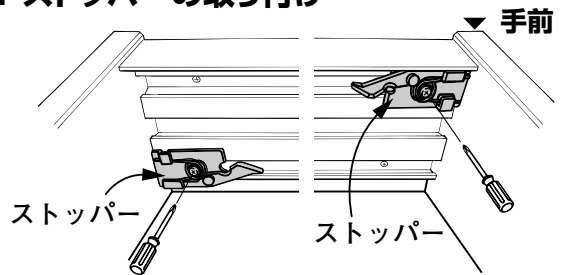
- 上部ピボットが連動ユニット、レールに確実に入っていることを確認してください。
- ピボットの差し込み位置を誤ると、扉がきちんと閉まりません。その場合は、もう一度扉を外してピボットを差し込み直してください。

### 2. 中扉・手前側扉の取り付け

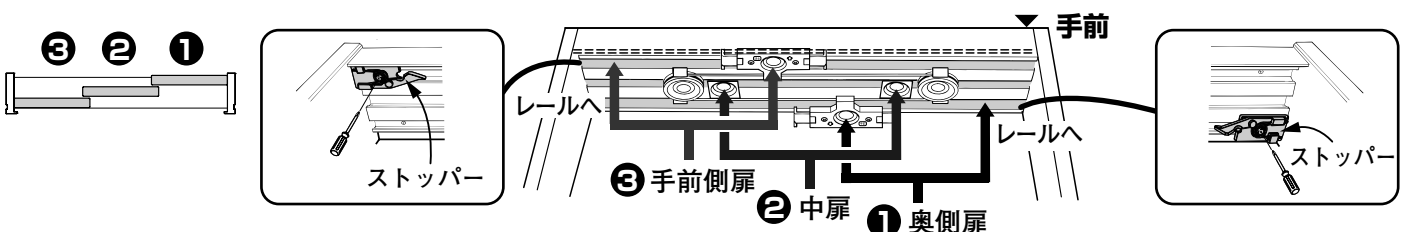
奥側扉と同様に中扉・手前側扉を取り付ける。



### 3. ストッパーの取り付け



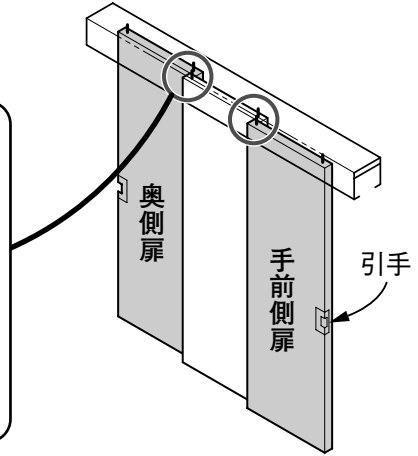
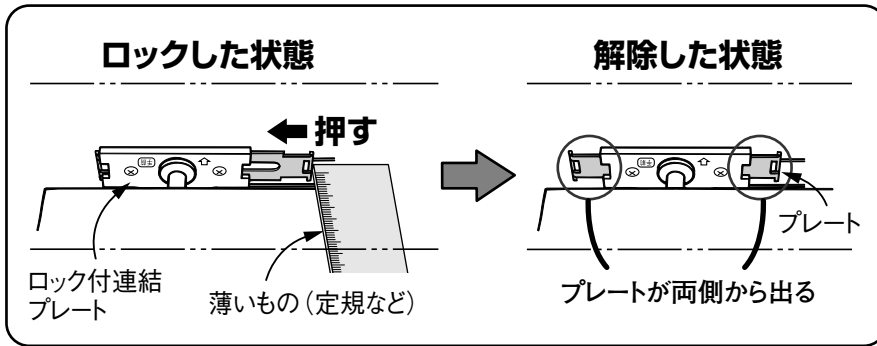
### 左扉を手前に設置する場合



## ■扉の取り外しかた

1. 薄いもの（定規など）を幕板と扉の間に差し込み、プレートを押してロックを解除する。

※ロック付連結プレートは、手前側扉と奥側扉の引手と反対側に付いています。必ず手前側の扉から取り外してください。

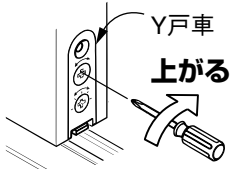


2. 扉を持ち上げて外す。

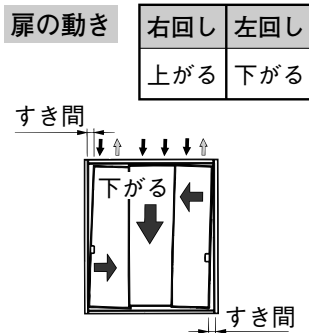
## 扉の調整

### 高さ調整

上の調整ねじをプラスドライバーを使用して調整する。



※±3mm上下調整できます。

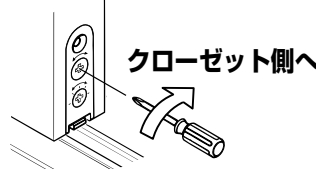


**調整位置** 扉上部にすき間がある場合  
左側のY戸車を調整

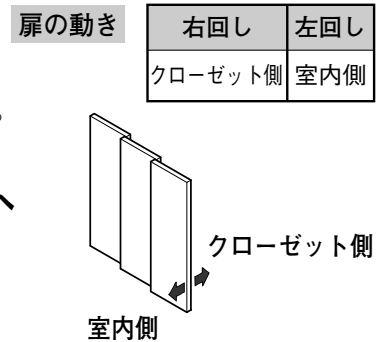
扉下部にすき間がある場合  
右側のY戸車を調整

### 前後調整

下の調整ねじをプラスドライバーを使用して調整する。



※±2mm前後調整できます。



**注意** 電動ドライバーは使用しないでください。

## 施工後の確認

■下記の表にしたがい、施工の仕上がりをチェックしてください。

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
扉は上部ピボットで確実に吊り込まれていますか？		ストッパーと上部ピボットが確実にかん合していますか？	
下レール内にねじや釘が残っていませんか？		安全装置のロックがかかっていますか？	
Y戸車は下レールに確実にハマっていますか？		下レールに浮きがありませんか？	
左扉・右扉を動かして、3枚扉が連動してスムーズに開閉しますか？※スムーズに開閉しない場合は、下記を参照して確認してください。			

3枚扉が連動しない場合

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
① 上レール取付用ねじが飛び出していませんか？		② 枠が水平・垂直に取り付けられていますか？	

扉が閉まりきらない場合

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
① 上部ピボットの連動ユニットへの差し込み位置は合っていますか？(扉の吊り込み ② 扉の取り付け参照)		② 枠や扉を現場切断して施工していませんか？	

※施工後の養生時には、ガムテープを使用しないでください。

※段ボール材などでの養生では、養生用弱粘テープを使用し、化粧面には直接貼り付けしないでください。